

# 都議会議員選挙が終わりました

大田区 猪塚 武

## 週刊いづか事務所通信（最終号）より抜粋

「都議会議員選挙」が終わりました。いづか武は3642人の方のご支持を得ることができましたが、残念ながら当選には至りませんでした。皆さんの応援に答えることが出来ずに本当に申し訳ない気持ちで一杯です。開票が終わった後に数日間考える時間が私には必要でしたので、最終号の「週刊いづか事務所通信」が遅れてしまったことをお許しください。ご支援本当にありがとうございました。

## 【都議選の反省】

### 知名度は思ったほど上がらなかった

投票日を目前に控えた7月4・5日蒲田と雪谷大塚でいづか武の知名度調査を行いました。4日の蒲田では約20に1人、5日の雪谷大塚では10人に1人しかいづか武を知りませんでした。（大前さんの知名度もそんなに高くなく、いづかの約2倍～3倍程度でした。誤差は大きいと思いますが、...）

結果はショックでした。新聞によると、投票で政党に入れる人と個人で入れる人は半々だと聞きますが、個人を知ってもらえた割合がこのくらい少ないのでは問題になりません。半年間ポスターを貼り、毎朝夕駅前で話しましたがうまくいかなかったようです。別の方法か長い期間をかけた政治活動が必要です。

### 公示後にできることは限られている

選挙法はガンジガラメである。潜在的なスーパースターの立候補でなければ公示後にはそれまでの圧倒的な劣勢をひっくり返すことはできないように思う。公示前までに泡沫候補だと思われぬ段階にまで自分のポジションを引き上げておく必要があるが残念ながら今回はできなかった。

駅前の演説とチラシ配りでは限界がある。ミニ集会、戸々面接などの手法が必要のように思われるが、この方法は政策立案以外の労力を過度に政治家に科すのでそのまま実行すべきではないように思う。

### 既成政党は嫌だが

#### 力のないグループでは受け皿にならない

政治全体が嫌われてしまった。そして、有権者はNEXTのようなミニ政党には興味を示さなかったように思う。力強いイメージを持つ新しい政治のグループが必要のように思う。

### 良い政治に対するニーズは

#### 以前にも増して高まっている

組織票以外に、投票したい党がないので棄権してしまった人、仕方なく共産党や自民党に入れてしまった人も多いと思います。新進党、民主党などの中間政党の後退は大きな問題です。政治への絶望感、

不信感が高まり本物の政治に対するニーズは以前にも増して高まっていると思います。残念ながら我々NEXTはその選択肢になり得なかった。しかし、ニーズがある限り私は次のプランを考えようと思います。

## 【いづか今後の方針】

今回の選挙を経て私はある意味で自身を持ちました。立候補前は政治家として一生を送るべきかどうか半信半疑でしたが、政治家の道を歩みたいと思います。ただし、今存在している政党には所属せずやっていきたいと思います。無所属が良いとは思いません。力強く清潔な政治的なグループを作る為の努力をします。新しい党を作ります。

私の現在の位置づけは「実際に立候補し動いたこと」「電子メディアに非常に明るいこと」「政党に所属していないこと」「若い世代であること」の4つだと思います。この4つを持つ人間として次に行うべき事は何かを考え大局的な見地から次の手を打ちたいと思います。皆さんのご意見をお聞かせください。

### 一新塾を超えた若い世代のネットワークの結成

一新塾だけで日本は変わらない。しかし、政党以外で一新塾に勝る若い人材を集めている場所はないと思います。一新塾のネットワークを中心に、そしてそれを超えた広い範囲から人材を集める。当選よりも日本を変えることを考えて政治家を志している若い世代のネットワークを作っていきたいと思います。そのためにいづかは

- キーパーソンを捜し、直接会いに行く
- ホームページ、マスコミなどの情報発信
- 若い世代に心の革命を起こせるような訴えかけを続ける。

### ★電子メディアを最大限利用した政治活動★

- ネットワーク上の政党のインフラを整備し、ネットワーク上の政党を作る
- Web上での政治のコンテンツの集積点を目指す。

### ★4年後の都議選を目指す★

- 大田区に根を下ろし、基盤づくりの為多くの人に会うことを続けます。

### 課題は資金ショート

知名度は上がらなかったが、出会った有権者の方には嫌われなかったように思います。私はこのまま活動を続けるべきだと思っています。ただ、これまでの政治家が陥った罠に陥らない為には、当選を目的にせず当選を目指すという矛盾したスタンスが必要であるように思います。現存政党に所属せず政治活動を続ける覚悟はできましたが、資金をどうするか